

# 巻頭言

常務取締役  
技術研究所長

藤井 徹也



昨今のコンピュータ，通信を中心とした情報関連技術の進歩は著しく，1年半ごとにその能力が倍増すると言われていきま。鉄鋼業界はその恩恵を最も享受した産業と言っても過言では

なく，コンピュータをオーダー受注，生産・品質管理，出荷などの情報管理システムとして用いるとともに，その本来の意味するところ（computer：計算機）の数値計算分野でもプロセス設計やシミュレーションに活用してまいりました。

コンピュータを利用した数値解析は1950年代の有限要素法の開発によりその威力を發揮し

参考に供するとともに、ご批判・ご教示を仰ぐべくとりまとめました。今後ますますのご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。